



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和5年度
川崎市財政読本

未来への
投資予算

財政 の はなし

かわさきを元気に動かす
私たちのお金



154万人の
おさいふに
ついて知ろう!

財政のはなし

かわさを
元気に動かす
私たちのお金

～「最幸のまち かわさき」をめざして～

「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤づくり」の3つの視点で、
それぞれの施策を進め、誰もが幸せを感じられるまちの実現を目指していきます。

※最幸とは…川崎を幸せあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

令和5年度未来への投資予算 1

川崎市の「おさいふ」

1 「予算」は目的に応じてつくられています 2

令和5年度予算のはなし

2 一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です 4

3 市民一人あたりの予算の使いみちは？ 6

〈コラム①〉市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアに向けた取組 ... 7

4 市民生活に身近な「市の仕事」 ここにも予算が使われています 8

5 市民満足度の高い行財政運営に向けて取り組んでいます 9

6 令和5年度予算で行う主な事業をチェックしましょう 10

川崎市の財政を知ろう

7 川崎市の財政状況は大丈夫なの？ 14

8 扶助費には、時代の流れや社会の様子が反映されています 16

9 人件費は適切な額になるよう見直しに努めています 18

10 市の将来像を確認しながら借入金のバランスを考えています 20

減債基金ってどうして必要なの？ 22

知っていますか？これも市の事業なんです 23

あなたも川崎市をサポートできます！ 24

〈コラム②〉「ふるさと納税」によって流出している市税は、本来は、
私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。 25

令和5年度 未来への投資予算



ずっと川崎で暮らしていきたい。

そんな未来へ向けた種まきとなる予算の中から、
皆さんに関心を持ってもらえるものをピックアップしてご紹介します。



子どもが健やかに育つために

小児医療費助成制度の 拡充

通院助成
対象年齢 小学6年生まで(現行)
→ 中学3年生まで

所得制限 撤廃

地域の寺子屋を 増やす

寺子屋のある学校 53%(令和4年度)

全校への設置を目指します

学習状況調査の 対象の拡大

対象を小学5年生と中学2年生(4年度)

小学4年生から中学3年生までに拡大

脱炭素社会の実現に向けて

電気自動車(EV)用の 充電設備(共同住宅)の設置補助

走行時にCO₂を排出しないEVの普及は、地球温暖化の抑制や大気環境の改善につながります

「地域エネルギー会社」 の設立

市と民間事業者が共同設立し、市内各処理センターでゴミを焼却した際に生じる廃棄物発電を活用するなど、再生可能エネルギーの地産地消の実現を目指します。

プラスチック一括回収 に向けた施設整備

プラスチック製品と容器包装の一括回収の実現に向けて、リサイクル施設の設備改修を行います。

安心に暮らす

JR南武線のホームに ホームドアを設置

令和5年度の設置予定駅
南武線川崎駅、武蔵中原駅、武蔵新城駅

街路樹の維持管理 を強化

維持管理を強化することで、地域の景観が向上し、見通しの良い安全な道路環境を確保します。

自主防災組織 の支援

自主防災組織が使用する防災資器材の購入補助を行うことなどを通じて、地域の防災活動を支援し、地域防災力の向上につなげます。

市制100周年・全国都市緑化かわさきフェア

100周年の節目の年まであと1年。市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインに向けて、一緒に走り出しましょう。今もこれからも、川崎は「みんなが主役」です。

詳細はP.7をご参照ください。

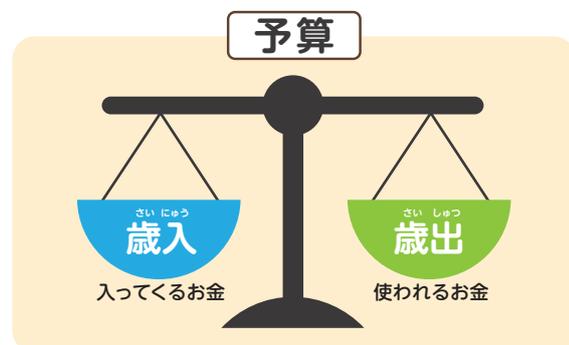
COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



①「予算」は目的に応じてつくられています

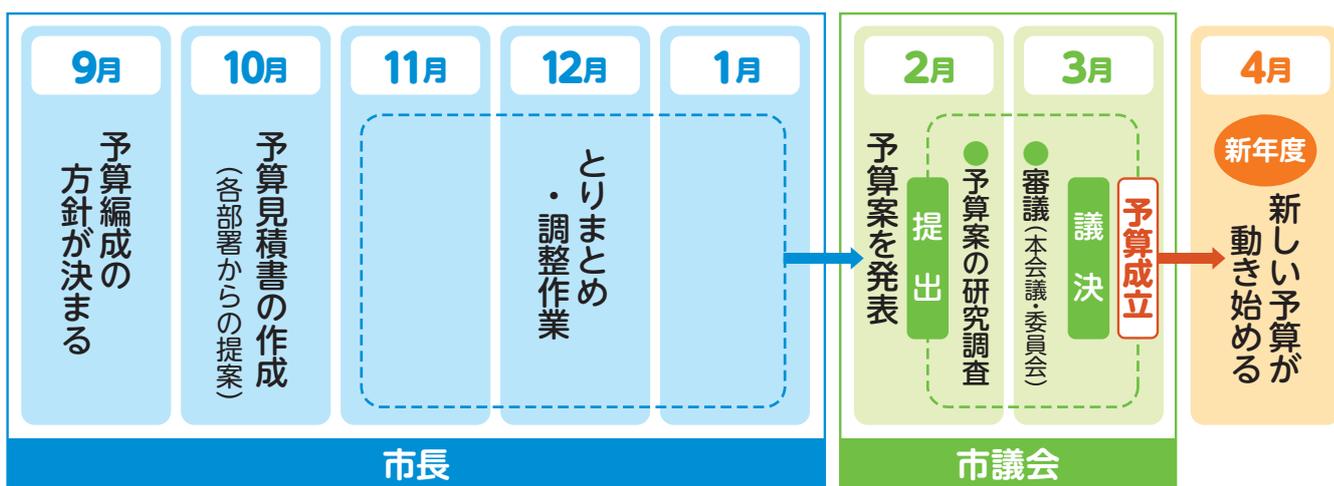
予算って何？

市では、教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など、さまざまな行政サービスを市民に提供していますが、どのような行政サービスにどのくらいお金を使うかについて、あらかじめ決めておく必要があります。そこで、新しい年度が始まる前に、税金などの収入と、行政サービスの費用などの支出の金額を見積もり、事業の内容を計画します。この見積もりを「予算」といいます。



「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。

▶ 予算づくりの流れ



ことばの解説①

補正予算

年度の途中で状況の変化や新しい事態、台風等の災害が発生した場合にも臨機応変に対応することが重要です。このとき市は仕事の計画を一部変更し、同時に予算も見直します。これをまとめた計画を「補正予算」といい、「予算」と同じように市議会で審議し、認められると予算が変更されることとなります。

「予算編成」…市長

予算づくりはすべての仕事を細かく見直しチェックする作業から始まります。その上で人やモノ、サービス等にどの程度の費用がかかるのかを詳細な計画としてまとめたものが「予算案」です。市長が予算案をつくり、市議会に提出します。

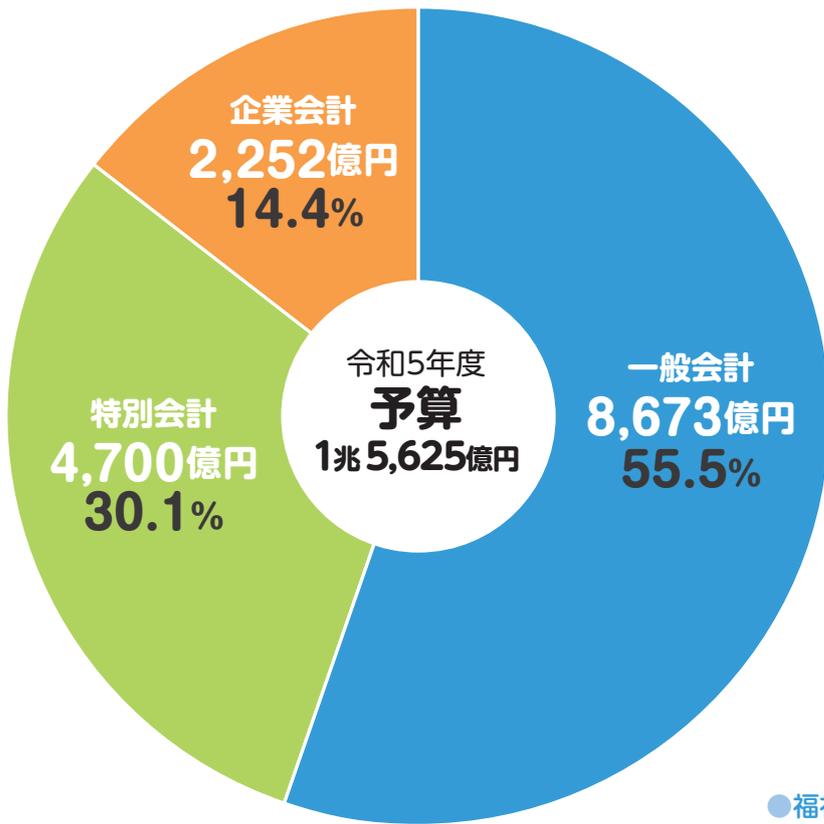


「予算審議」…市議会

市長から提出された予算案は、市議会で審議されます。市議会議員は多角的にチェックしながらこれを審議し、最終的に可決されると予算が決定します。予算は毎年、年度ごとに組まれています。



目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。



▶ 令和5年度 各会計予算の内訳

予算は収入の種類や使い道などに応じ、分けて扱われています。

複数の「おさいふ」を使い分けしながら収支を明確にするとともに似ています。

一般会計

市の基本的な仕事(教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など)を行う予算です。主に市税で賄われています。一般会計の「おさいふ」は1つです。

関連記事▶ P.4

次ページ以降では本年度の一般会計について、詳しくご紹介しています。

特別会計

国民健康保険や競輪なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。川崎市には現在13の特別会計があります。



● 国民健康保険



● 競輪事業

企業会計

市営バスや病院などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。

川崎市には現在5つの企業会計があります。



● 福祉



● 教育



● 道路整備



● バス事業



● 病院事業

Q

予算を「小分け」にするのはなぜでしょうか？

A

一部の事業については、「小分け」にすることにより、わかりやすく、使途を明確にすることが必要な場合もあるからです。

② 一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。
なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

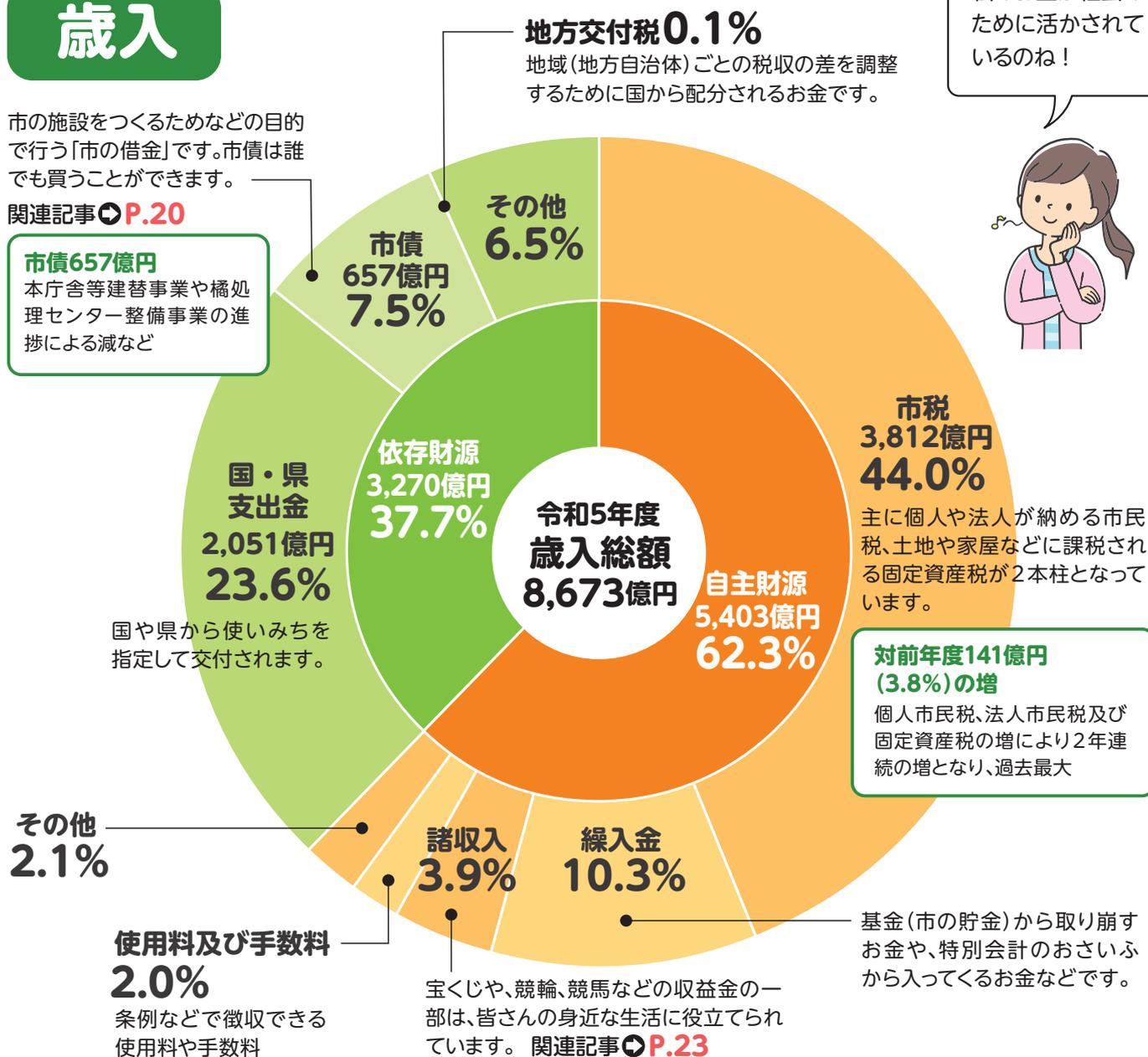
歳入

市の施設をつくるためなどの目的で行う「市の借金」です。市債は誰でも買うことができます。

関連記事 **P.20**

市債657億円

本庁舎等建替事業や橋処理センター整備事業の進捗による減など



私のお金が社会のために活かされているのね!



ことばの解説

自主財源と依存財源

「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。一方「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

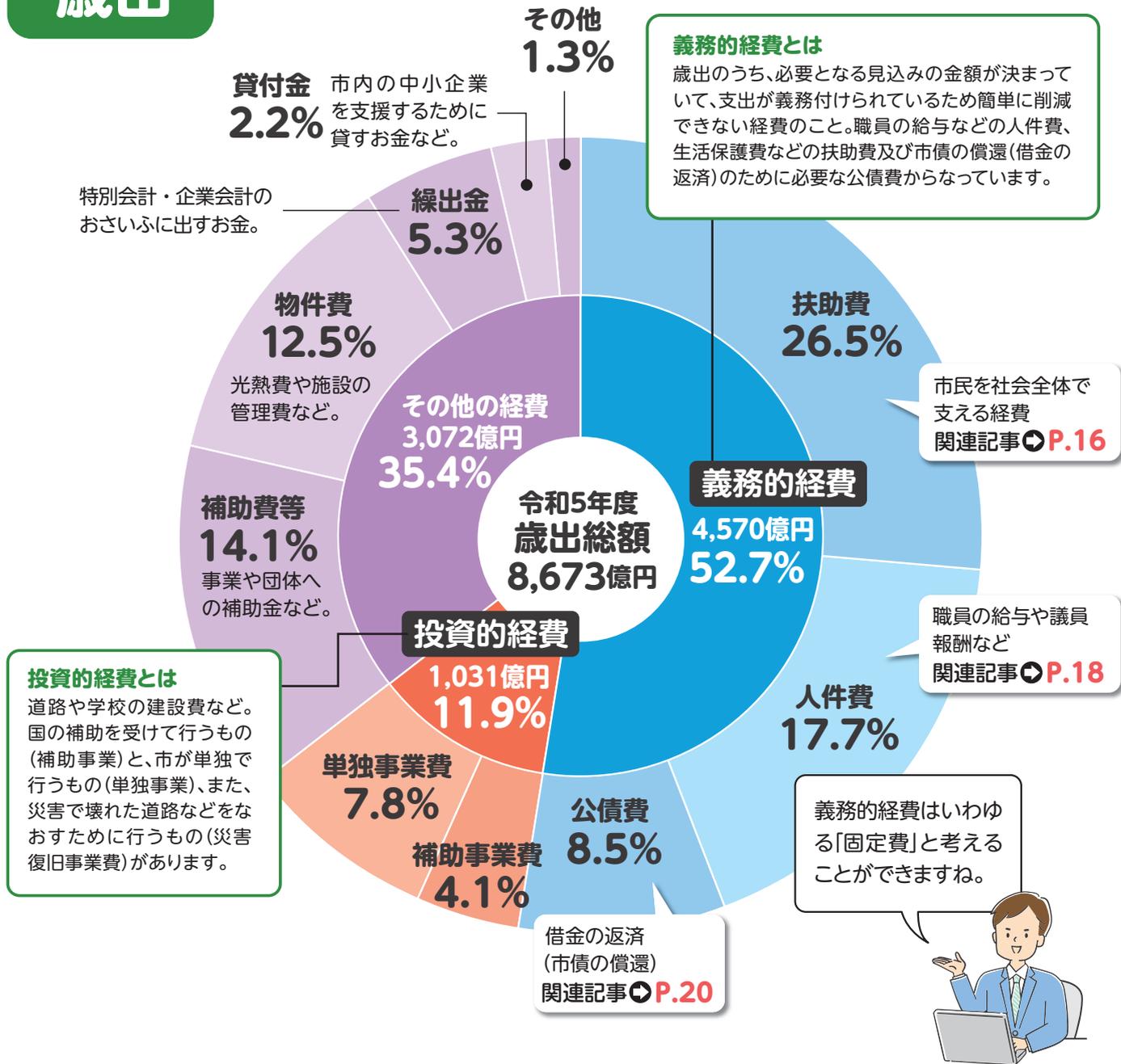
令和5年度 一般会計予算

POINT

予算規模8,673億円は、
対前年度112億円(1.3%)の減で前年度
比較で11年ぶりの減

過去の減債基金借入金(721億円)を除いた場
合7,952億円(対前年度177億円(2.2%)の減)

歳出



投資的経費とは
道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うもの(補助事業)と、市が単独で行うもの(単独事業)、また、災害で壊れた道路などをなおすために行うもの(災害復旧事業費)があります。

義務的経費とは
歳出のうち、必要となる見込みの金額が決まっています。支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費のこと。職員の給与などの人件費、生活保護費などの扶助費及び市債の償還(借金の返済)のために必要な公債費からなっています。

減債基金*新規借入金120億円

厳しい財政状況においても、「最幸のまち かわさき」の実現に向けた取組を切れ目なく推進します。24年度決算からの借入総額は841億円となっています。*市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てることを目的に設置された基金です。

減債基金借入金の返済について

減債基金借入金については、将来の市債償還に支障を及ぼすことがない範囲で行っていますが、借入はあくまでも臨時的な対応であり、早期の解消が必要であることから、市民サービスの安定的な提供と、財政状況のバランスに配慮しながら、可能な限り早期の返済に努めます。 関連記事▶P.22

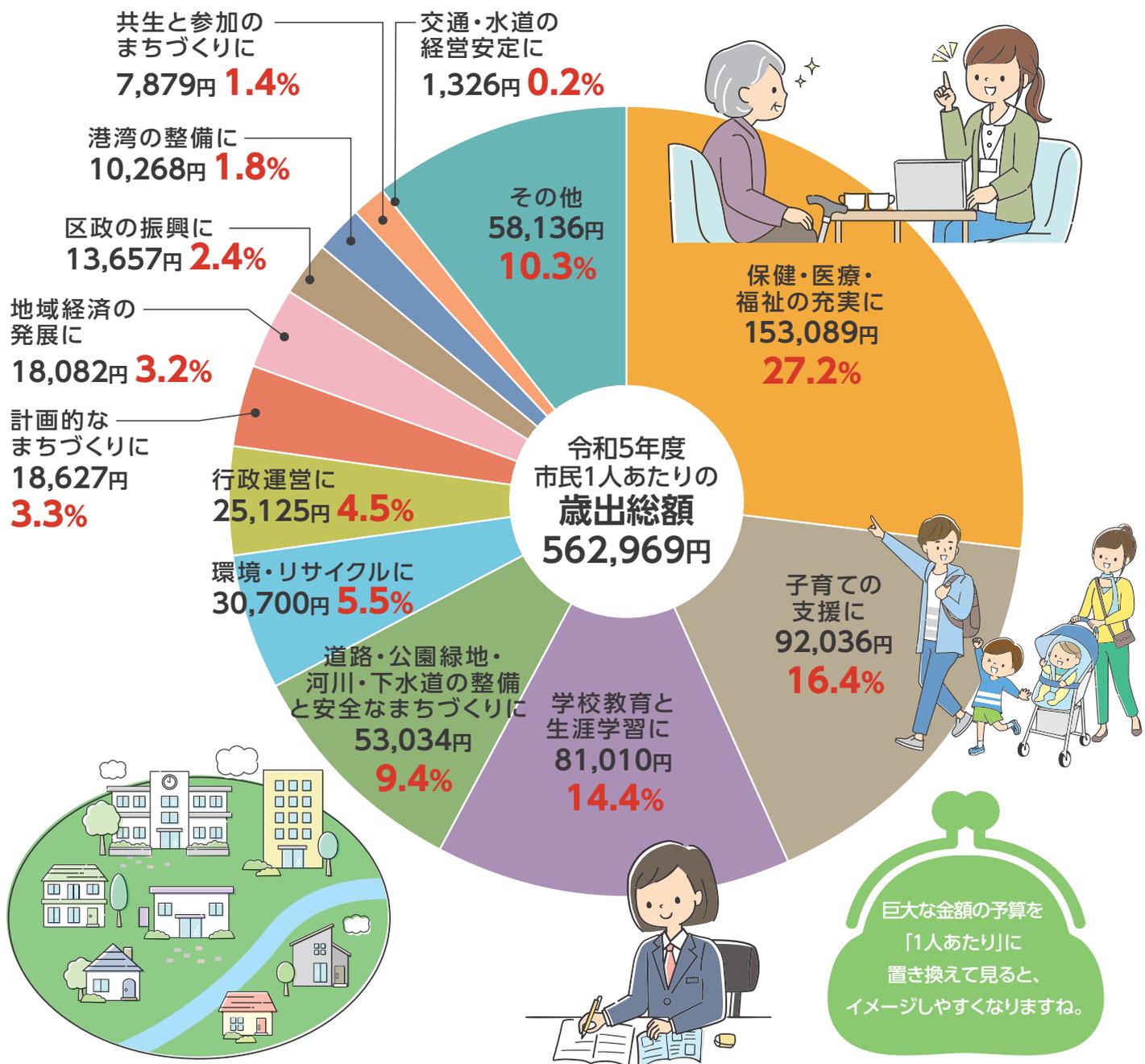
POINT

③ 市民一人あたりの予算の使いみちは？

一般会計予算(8,673億円)を人口で割り、1人の市民にとって予算がどんな割合で使われているかを図にしました。「扶助費」「物件費」などの項目も、さらに細かく具体的なものに変えてご紹介します。

歳出の内訳をちがった見方で整理し、より身近なものとして再確認

※令和5年1月1日現在の推計人口：1,540,516人として計算



市民生活の幅広い分野に、きめ細かく配分されています。

市制100周年記念事業 全国都市緑化かわさきフェア に向けた取組

川崎市は、令和6(2024)年に市制100周年を迎えます。この歴史的な節目に「あたらしい川崎」を生み出し、市民の皆様へ川崎の多様な魅力を「知って、関わって、好きになってもらう」ため、300を超える団体・企業等が参画する実行委員会を立ち上げ、オール川崎市で事業を展開していきます。

また、市制100周年を象徴する事業として、令和6年度に全国都市緑化かわさきフェアを開催し、一体的な展開をはかっていきます。

市制100周年記念事業 令和5年度の取組 約3億1千万円

1 市制100周年記念事業に係る プロモーション等の推進

PRポスター、動画、記念誌等の広報物の企画・制作、メディアミックスによる多角的なプロモーションを展開します。

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



市制100周年
記念事業
公式ウェブサイト



2 実行委員会が主体となる 取組の推進

令和6年度の記念事業の実施に向けた取組や、多様な主体による記念事業の創出を促進する取組などを進めます。その先導的な取組として令和5年11月には、川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなるイベント「フェス&カンファレンス2023」を開催するなどし、多彩なアクションを生み出していきます。



市民・企業等が参加するカンファレンス（講演・対話の場）の実施など

3 川崎市主催事業の実施 (令和5年度 59事業)

各局・各区役所が所管する既存の施策・事業に取り組む中で、100周年を契機として一層の課題解決や新たな価値の創出、次の100年に向けてレガシーを生み出すなど、一步先を目指す+αのチャレンジを進めます。



◀ パリアフリーな
スポーツ大会



▶ 公共空間を
活用した体験



◀ 昔の「丸子の渡し」
の様子

全国都市緑化かわさきフェア推進事業 約4億1千万円

全国都市緑化かわさきフェアは、秋は令和6(2024)年10月19日～11月17日、春は令和7(2025)年3月22日～4月13日の2期開催します。



全国都市緑化
かわさきフェア
公式ウェブサイト



1 実行委員会が主体 となる取組の推進

基本・実施計画を策定するとともに、市民総参加型のフェアの実現に向けた周知拡大や機運醸成を図り、多様な主体との協働・共創による取組を推進します。

2 かわさきフェアに向けた 関連施設の整備等

かわさきフェアの実現に向けて関連施設等の整備を推進するとともに、市主催の事業等と連携を図ります。



花を贈りあう行動が文化に!



自然を生かした新しい魅力を創出!

⑤ 市民満足度の高い行財政運営に向けて取り組んでいます

総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進するため、令和4年度から令和7年度までの4か年を計画期間とする「川崎市行財政改革第3期プログラム」に基づき、市民サービスや市役所組織・職員の質の向上等の質的改革とともに、効率的・効果的な行財政運営に向けた改革を進めています。

▶ 改革の取組

取組 1

社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築

少子高齢化の一層の進展や多様化・増大化する市民ニーズに的確に対応するため、将来を見据えた市民サービスの再構築や市民サービスのデジタル化の推進、市民サービスの向上に向けた民間活用の推進に取り組めます。

01

将来を見据えた市民サービスの再構築

02

市民サービスのデジタル化の推進

03

市民サービスの向上に向けた民間活用の推進

取組 2

市役所の経営資源の最適化

事業見直しや事業手法の改善等により、市民サービスの提供に必要な経営資源を市役所内部で生み出し再配分するなど、経営資源の最適化を図るため、働き方・仕事の進め方改革や市役所内部のデジタル化、組織の最適化等に取り組めます。

01

働き方・仕事の進め方改革の推進

02

市役所内部のデジタル化の推進

03

組織の最適化

04

財源確保策の強化

05

戦略的な資産マネジメント

06

特別会計の健全化

07

公営企業の経営改善

08

出資法人の経営改善及び連携・活用

取組 3

多様な主体との協働・連携の更なる推進

今後ますます複雑化する地域の課題や社会的課題を解決するため、多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進や区役所機能の強化、地域防災力の向上に向けた連携、積極的な情報共有に取り組めます。

01

多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進

02

区役所機能の強化

03

地域防災力の向上に向けた連携

04

積極的な情報共有の推進

取組 4

庁内の人材育成と意識改革

多様化・増大化する市民ニーズに的確に対応するため、組織力の向上に向けた計画的な人材の育成等や行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成、職員の改善・改革意識及びコンプライアンス意識の向上等に取り組めます。

01

組織力の向上に向けた計画的な人材育成等

02

行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成

03

職員の改善・改革意識及びコンプライアンス意識の向上

04

職員の能力が十分に発揮できる環境づくり

53億円の財政効果を確保

⑥ 令和5年度予算で行う 主な事業をチェックしましょう

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、令和5年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

戦略①

「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

国土強靱化の推進

- 「かわさき強靱化計画」に基づく取組の推進
- 災害情報通信システムの整備推進

不燃化の取組やまち全体の耐震化の推進

- 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進
- 地域住民との協働による防災まちづくりの推進
- 民間建築物及び宅地等の耐震化の推進

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

- 本庁舎等建替えの取組【写真左】

上下水道機能の安定確保

- 上下水道施設等の耐震化
- 応急給水拠点の整備

地域防災力の向上

- 地域防災力の強化に向けた取組の推進【写真中央】

消防力や救急医療体制の強化

- 消防署所の整備
- 消防団活動の充実強化

感染症対策の強化

- 感染症の発生ステージに応じた国や県、医療機関等と連携した取組の推進

気候変動に伴う風水害への適応力の強化

- 五反田川放水路の整備
- 浸水シミュレーション等に基づく浸水リスクの高い重点化地区や局地的な浸水箇所における浸水対策の推進
- 平瀬川・多摩川合流部の堤防整備の推進

防犯の取組や安全対策等によるまちの価値の向上

- 防犯カメラの設置支援や戦略的な整備・運用
- 市民や警察等と連携した交通安全対策の推進
- 総合的な犯罪被害者等支援の推進
- 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進【写真右】



新本庁舎



総合防災訓練の様子



ホームドア設置例
(JR南武線武蔵小杉駅)

戦略②

「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

希望する誰もが安心して 子どもを預けられる環境づくり

- 認可保育所受入枠の拡大(11か所685人の受入枠拡大)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大(13人の受入枠拡大)
- 保護者向け保育所等案内の充実
- 保育士等の処遇改善の実施
- 幼稚園における保育ニーズへの対応(3園105人の枠拡大)
- 保育士確保対策の推進
- 認可保育所等の整備
- 保育・子育て総合支援センターの整備

子どもがすこやかに育つ 安全な環境づくり

- 児童相談体制の強化に向けた施設整備
- ひとり親家庭支援施策の推進
- 障害児等への適時適切な相談・支援の実施

子ども・若者の安心できる 居場所づくり

- 地域の寺子屋の開講(新規開講予定15か所)

未来を担う人材の育成

- 「分かる」授業の実現への学力調査・授業改善研究の推進
- 「キャリア在り方生き方教育」の推進
- 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実
- 学校図書館の充実(小学校へ学校司書を配置70校→92校)
- 「かわさきGIGAスクール構想」の推進【写真】
- 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援

安全で快適な教育環境の整備

- 児童生徒数・学級数の動向に応じた計画的な施設整備
- 新川崎地区の小学校新設に向けた取組
- 学校施設の長寿命化に向けた取組(校舎41校、体育館14校)
- 小・中学校の空調設備更新整備

多様性や子どもの権利が認められる 社会の実現に向けた取組の推進

- 中央支援学校の狭あい解消や更なる教育内容の充実に向けた施設整備
- 「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちと意見表明の促進



GIGA端末で学ぶ様子

戦略③

「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

総合的なケアの推進

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
- 全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進
- 認知症の人や家族を地域で支える体制の構築
- 質の高い介護サービスを支える人材の確保
- 障害福祉サービス基盤の整備

健康寿命の延伸に向けた取組

- 市民の健康づくりの促進
- がん検診の受診率向上に向けた取組
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

誰もが暮らしやすい住環境づくり

- 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進
- 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムの構築に資する市営住宅の活用推進【イラスト】

社会的・経済的自立に向けた取組の 推進

- 障害者の特性に応じた就労等に向けた取組の推進
- ひきこもり地域支援センターにおける取組の推進

誰もが生きがいを持てる地域づくり

- 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進に向けた取組



市営住宅完成イメージ

戦略④

「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

広域拠点の整備

- 川崎駅周辺地区、京急川崎駅周辺地区整備の推進
- 小杉駅周辺地区における民間開発の誘導等の推進
- JR武蔵小杉駅新規改札口設置に向けた取組等の推進
- 新百合ヶ丘駅周辺地区整備の推進

地域生活拠点等の整備

- 登戸土地区画整理事業の推進
- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくりの推進
- 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進
- 柿生駅前南地区の再開発事業の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

- 都市計画道路等の整備及び緊急渋滞対策の推進
- 国道357号などの国直轄道路の整備促進
- 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進
- JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進
- (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備

鉄道ネットワークの形成

- 横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた取組の推進

身近な交通環境の形成によるコンパクトで暮らしやすいまちづくり

- 路線バスネットワークの形成に向けた取組
- コミュニティ交通の支援
- 駅アクセスの向上に向けた取組の推進

緑と水の環境形成

- 市民総参加型の緑化フェア開催に向けた取組の推進【イラスト】
- 多摩川の魅力を活かす取組の推進
- 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進
- 緑地の保全に向けた取組の推進

魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント

- 公園緑地等の利活用と管理運営の推進
- 新たなみどりの担い手の確保・育成に向けた取組等のグリーンコミュニティ形成の推進
- 大規模な公園緑地の整備
- 魅力的な公園の整備

地域資源等を活かした魅力的な都市空間づくり

- 地域緑化の促進によるみどりのまちづくりの推進
- 林産地の自治体等と連携した木材利用の促進



緑化フェア：全市展開のイメージ図

戦略⑤

「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

脱炭素化の推進

- 市民・企業等との協働による温室効果ガス削減
- グリーンイノベーションの推進及び中小企業に対するESG投融資の促進
- 地域エネルギープラットフォームを担う「地域エネルギー会社」の設立
- カーボンニュートラル化を目指した廃棄物処理施設の中長期的な整備構想の策定に向けた取組
- 処理施設の安定的な運営及び長寿命化の推進【イラスト】
- ごみ減量・リサイクルの推進
- プラスチック資源循環施策の推進
- カーボンニュートラルポート(CNP)の形成

水素戦略の推進

- 水素等の供給・需要拡大に向けた取組の推進
- カーボンニュートラルコンビナートの形成
- 水素エネルギー利活用の理解促進

デジタル化・国際化に対応したイノベーションの推進

- ライフ・ウェルフェアイノベーションの推進
- 量子イノベーションパーク実現に向けた取組の推進
- 社会全体のデジタル化に向けた取組の推進

中小企業の支援・商業の振興

- 市内中小企業・商業等の支援
- 中小企業のデジタル化などの社会変化への対応

都市農業の振興

- 都市農業振興施策の推進

就業の支援

- 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進

臨海部の活性化

- 臨海部の競争力強化
- 臨海部の新産業創出拠点の形成
- 大規模な土地利用転換の取組の推進
- 国際戦略拠点の形成・マネジメント
- 交通機能の強化
- 臨港道路東扇島水江町線の整備
- 港湾物流機能の強化



橋処理センター(イメージ)

戦略⑥

「みんなの心がつながるまち」をめざす

パラムーブメントの取組の推進

- かわさきパラムーブメントの取組の推進
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

人権と多様性が尊重されるまちづくりの推進

- 平等と多様性を尊重した人権関連施策の推進

スポーツ・文化芸術の振興

- スポーツのまちづくりの推進
- 若者文化の発信【写真①】
- 市民の文化芸術活動の振興【写真②】
- 市民ミュージアム事業の推進
- 橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群の保存・整備・活用の推進
- 音楽や映像のまちづくりの推進

協働により、心がつながるコミュニティづくり

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり
- 町内会・自治会の活動を支える取組の推進
- 地域ぐるみで子どもの育ちを支えるしくみづくりに向けた学校施設の更なる有効活用【写真③】

シティプロモーションの推進

- 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進
- 市制100周年に向けた取組の推進
- 川崎の特性を活かした観光の振興【写真④⑤】



① INTERNATIONAL STREET FESTIVAL KAWASAKI 2022 SUPER BREAKの様子



② 令和4年度 アート・フォー・オール推進モデル事業の様子



③ 学校を活用した子ども向け体験講座の様子



④ 2019年度「ステキな施設の認定案内所」に選ばれた「かわさき きたテラス」



⑤ ナイトマーケット「川崎夜市」



戦略⑦

「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」をめざす

行財政改革の推進

- 社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築
- 市役所の経営資源の最適化
- 多様な主体との協働・連携の更なる推進
- 庁内の人材育成と意識改革

資産マネジメントの推進

- 「資産保有の最適化」「施設の長寿命化」「財産の有効活用」の推進

デジタル化の推進

- デジタル技術とデータを活用した「市民サービス向上」と市役所内部の「業務改革」の推進

地方分権改革の推進

- 特別市の実現に向けた取組の推進

健全な財政運営

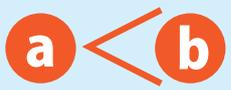
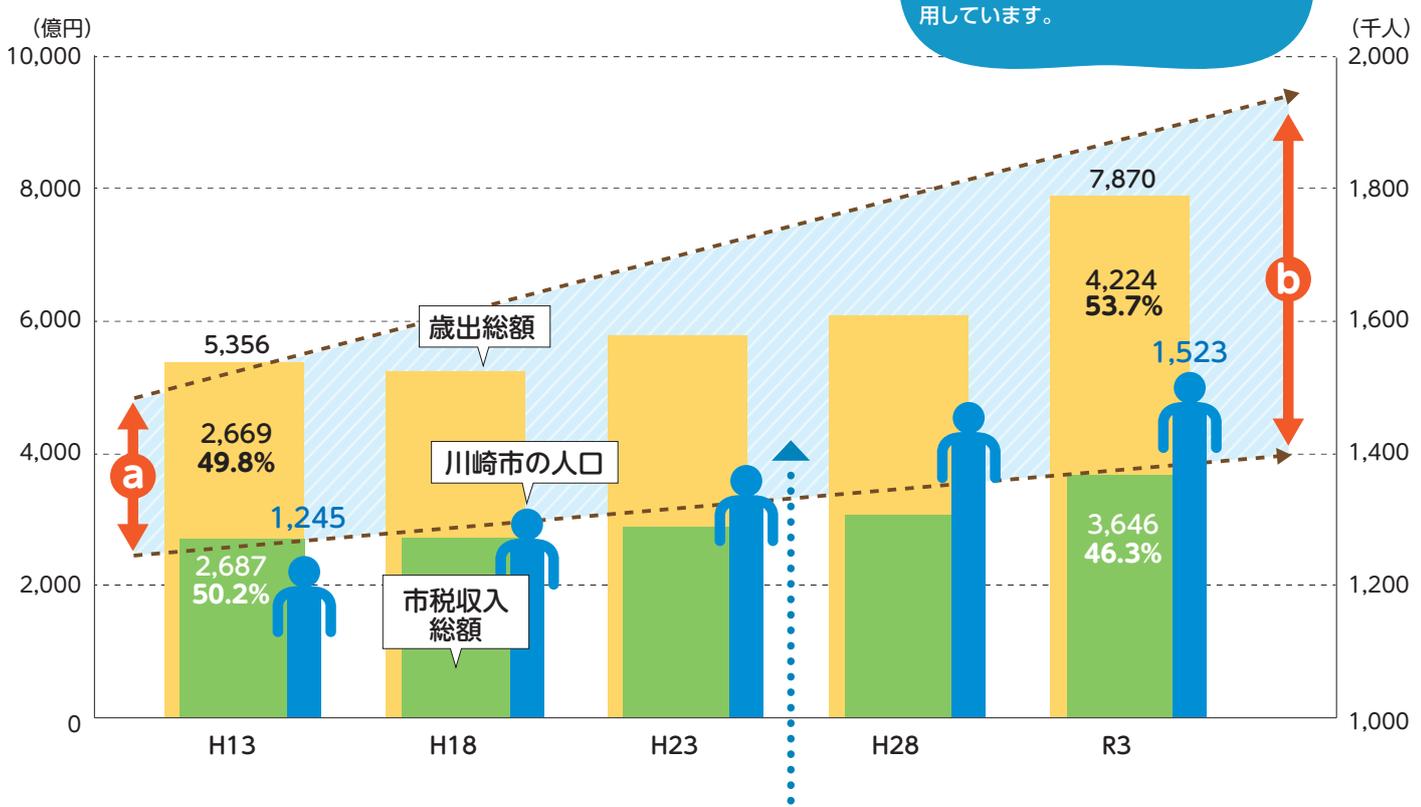
- 「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく財政運営

7 川崎市の財政状況は大丈夫なの？

人口が増加するなど活気がありますが、けっして豊かな状況とは言えません。

※普通会計とは
 各会計の範囲は地方公共団体ごとに異なっていますが、他都市との比較を行うため、一般会計と特別会計のうち一部の共通する会計を足し合わせたものを普通会計と呼んで利用しています。

▶ 歳出総額と市税収入額の推移 (普通会計※決算)



市税収入額が大幅に伸びない中で、新たな行政課題に対応するために歳出額は増加傾向にあります

20年前と比較してみると…

- 歳出総額は約47%増加
- 人口は約22%増加
- 市税収入額は約36%増加

「a」より「b」が大きくなっているということは「出ていくお金が増えている」ということ。また、人口が順調に増えているのに対して、市税収入は厳しい社会経済状況の影響で伸び悩んでいます。収支のバランスをとり、安定した財政に近づけるためにさまざまな工夫を凝らして努力する必要があります。

ことばの解説④

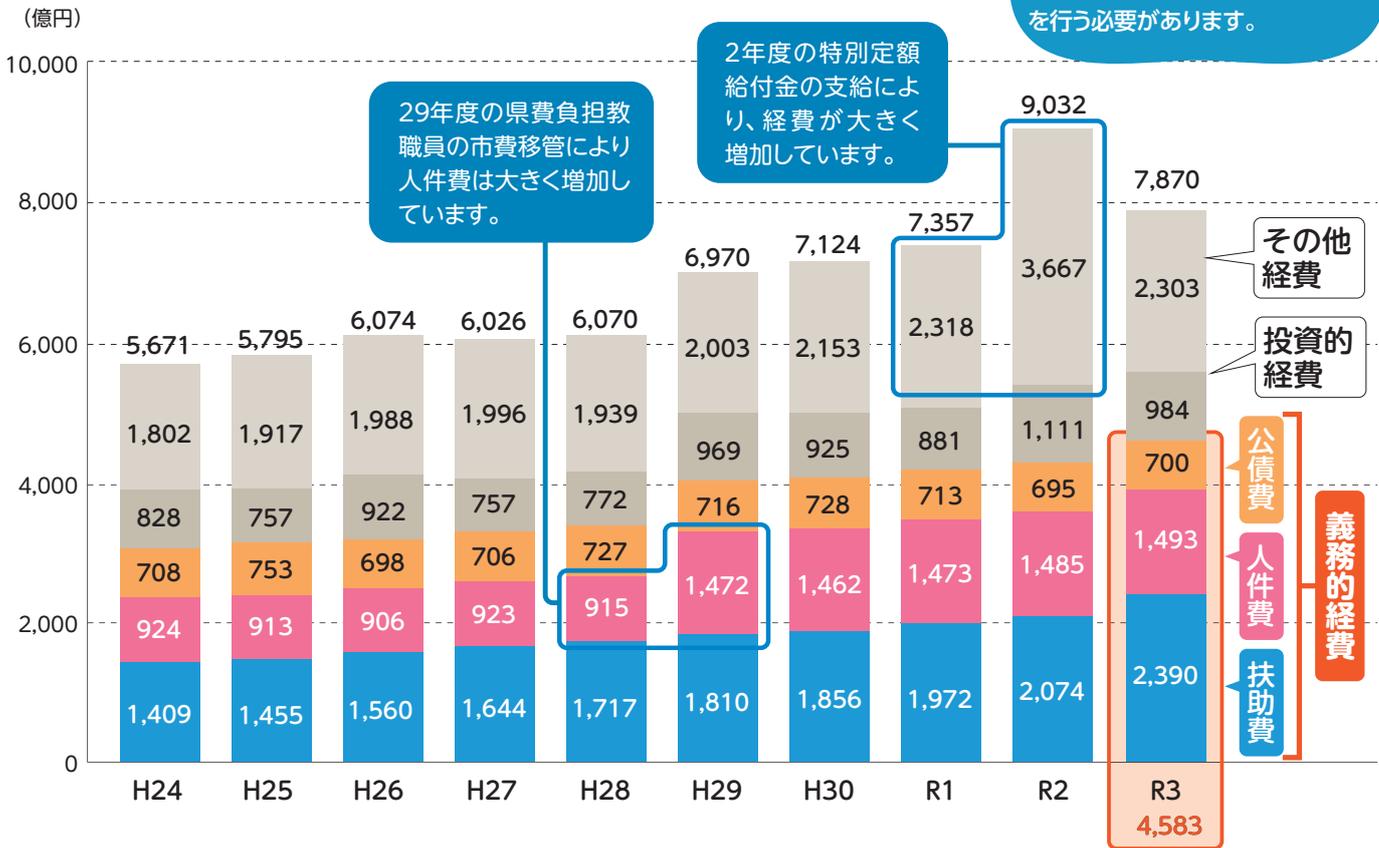
よ さん けつ さん
予算と決算

- 予算は「計画」であるのに対し、決算は「結果」です。1年間どのように使ったのか実績を示したものを「決算」といいます。
- 次年度の9月に市長が市議会に提出し、認定を受けます。また市では「決算」の内容を分析し、次の予算をつくるための参考にします。

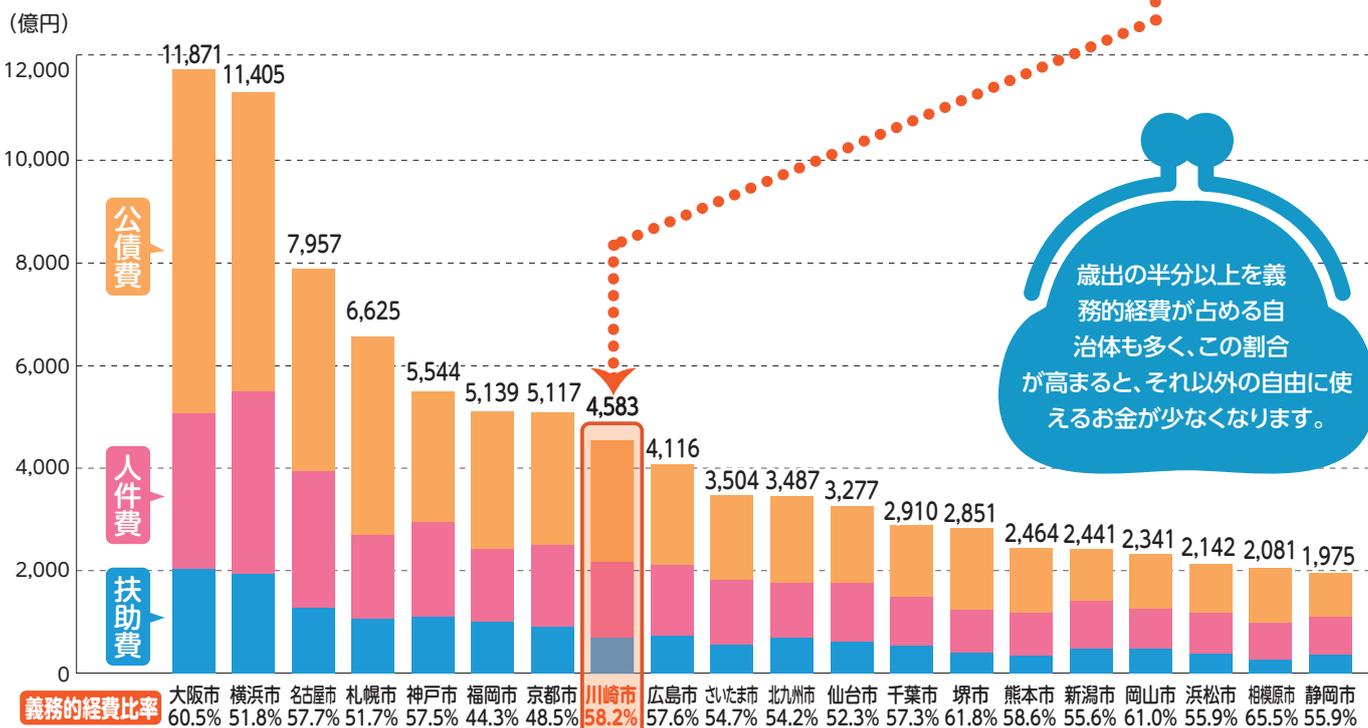
詳しく知るために「歳出」の内訳を1年ごとに見てみましょう。

義務的経費の中でも「扶助費」は保育需要の増加などにより増えています。こうした新たな行政需要に的確に対応しながら、将来を見据えた財政運営を行う必要があります。

▶歳出(性質別)総額の推移(普通会計決算)



▶義務的経費の政令指定都市比較(令和3年度普通会計決算)



⑧ 扶助費には、時代の流れや社会の様子が反映されています

扶助費とは生活に困っている人や子育てをしている世帯、障害を持った方々などの生活を社会全体で支えるためのお金です。

▶ 扶助費の内訳(令和3年度 普通会計決算額)

児童福祉費

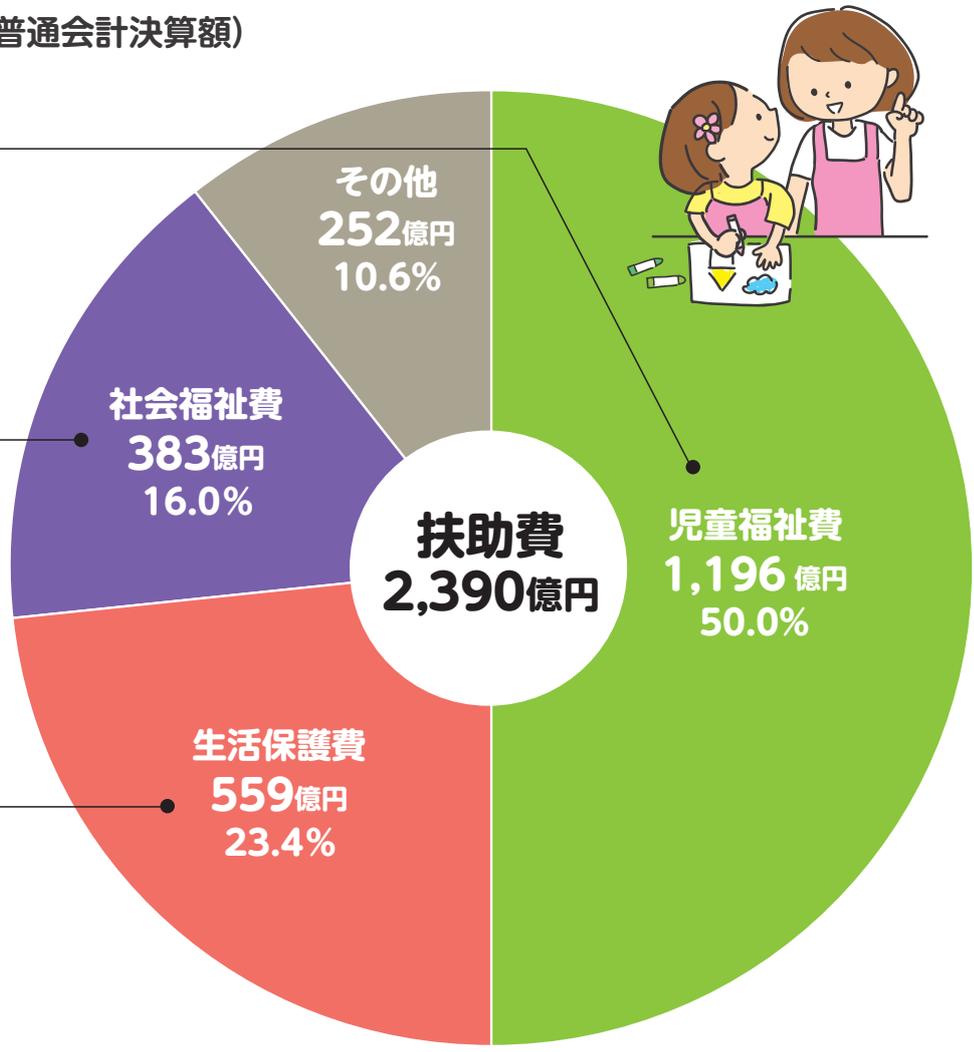
子育てをしている方々への支援
● 保育所の運営のための費用
● 小児医療費助成のための費用 など

社会福祉費

重い病気や障害を持った方々などへの支援
● 障害を持った方々の介護や施設での自立・就労訓練のための費用
● 医療費の助成 など

生活保護費

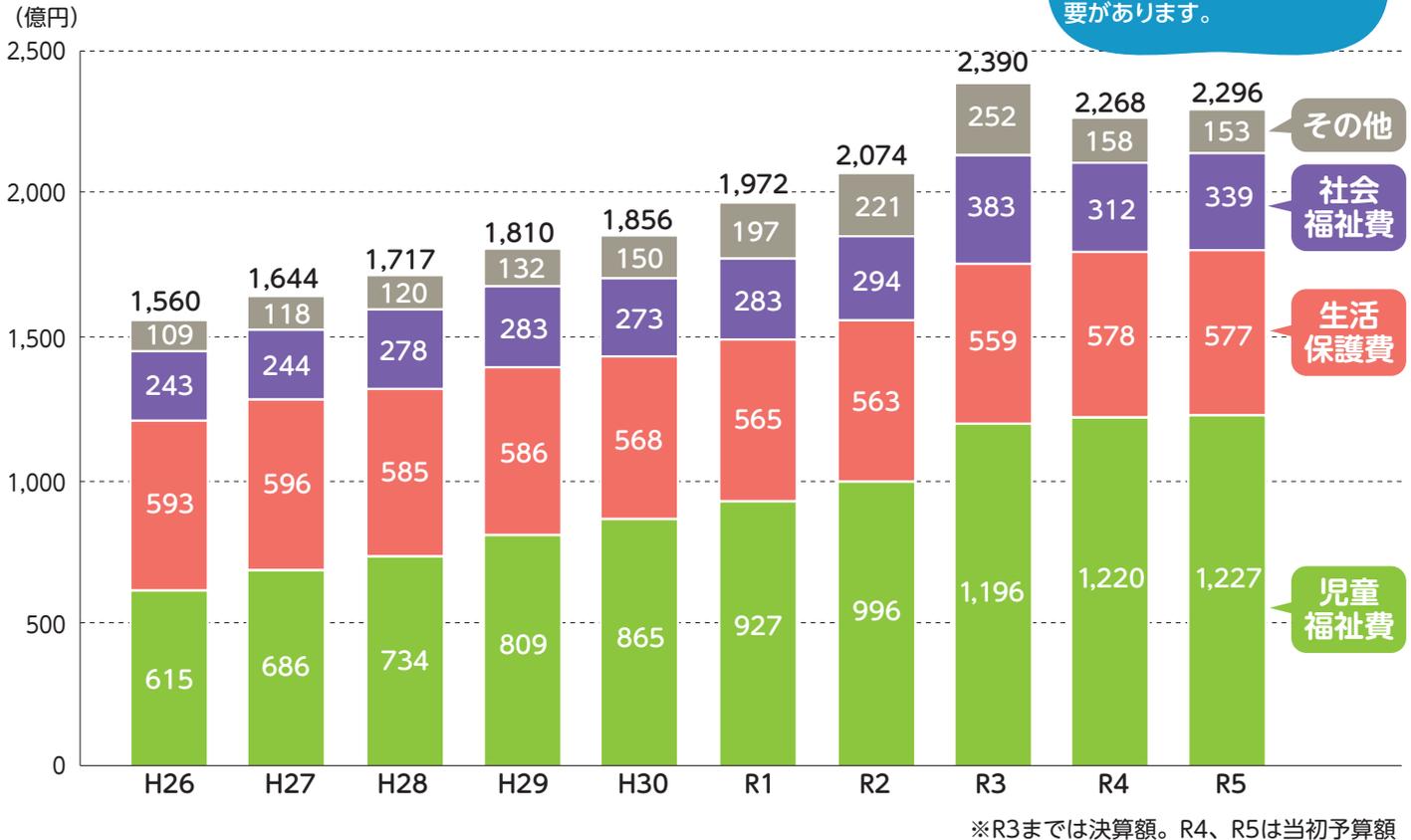
病気で働けないなどの理由で生活に困っている方々への支援
● 生活費
● 住宅費
● 医療費の支給 など



- 児童福祉費と生活保護費で全体の4分の3程度を占めています。
- 子育て環境の整備について、社会状況の変化や保護者のニーズなどに応じながら、力を入れて取り組んでいます。
- 生活保護費は高齢化の進展などにより高止まりしています。

扶助費の増加傾向は はっきりとしたものとなっています。

▶ 扶助費の推移(普通会計決算額)



10年前と比べて約1.5倍の金額に増加しており、介護予防や健康づくりなどの扶助費の抑制につながる取組をしっかりと進める必要があります。

社会保障・税一体改革に係る本市の取組

高齢化や現役世代の減少などの社会経済状況の変化を踏まえ、社会保障の充実・安定化と財政健全化を同時に達成するため、平成26年4月から消費税率の8%への引上げをはじめとする「税制抜本改革」が実施されました。また、令和元年10月からは消費税率が10%に引き上げられました。消費税率の引上げ分については、全て社会保障の充実・安定化に向け、「年金・医療・介護・子育て」の4分野に使うこととされています。

社会保障の充実の主な取組

消費税率
引き上げによる
本市の5年度予算に
おける増収見込額
約**198**億円

財源として
活用



子育て支援の充実

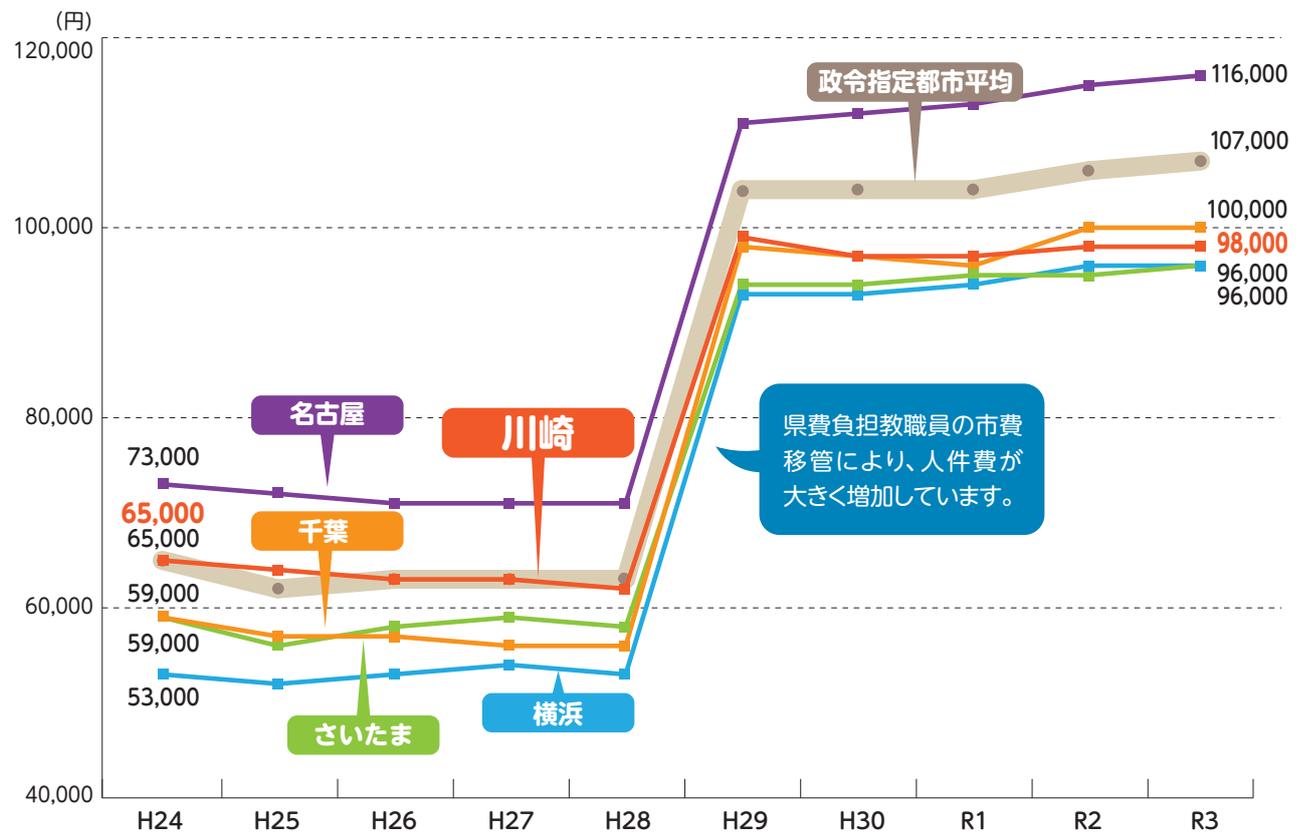


介護事業の充実

⑨ 人件費は適切な額になるよう見直しに努めています

人件費を他の都市と比べてみましょう。

▶ 市民一人あたりの人件費の推移 (普通会計決算)



貸借対照表 (バランスシート)

川崎市では、財政状況をよりわかりやすく説明する取組として、企業会計的手法による財務書類を作成しています。その一つが貸借対照表です。「貸借対照表」は、本市にはどれだけの資産と負債があるのか、現在保有している資産はどのような財源で形成されているのかを表しています。

民間企業会計に準じた財務書類
令和3年度一般会計等決算

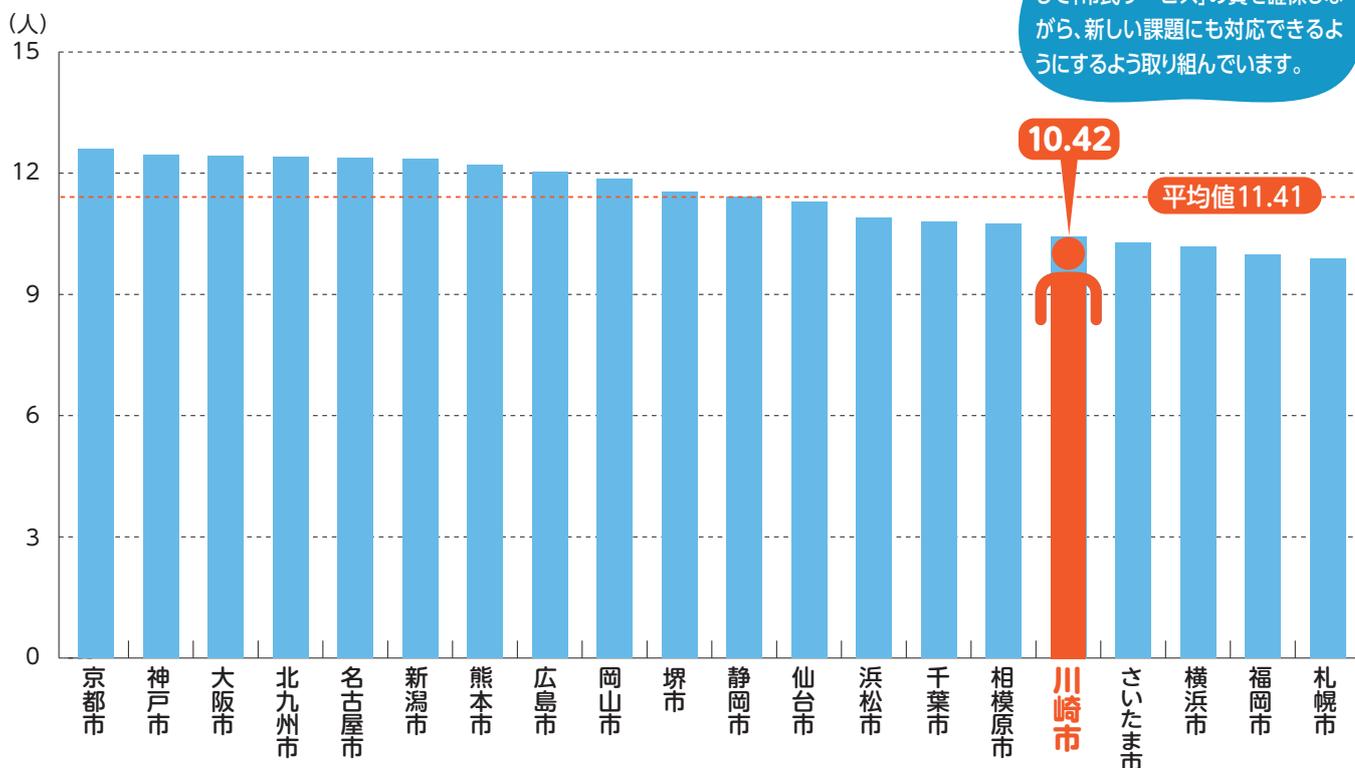


- 資産** 土地、建物、金銭など、市民共有の財産
- 負債** 借入金など、将来に支払いや返済が必要となる債務
- 純資産** 資産から負債を差し引いた残高。借金によらず、過去・現在の負担により形成した資産

※金額は、各項目の億円未満を四捨五入しているため、純資産の金額と資産から負債を差し引いた金額が一致しない場合があります。
※民間企業会計に準じて作成したもので、資産のすべてが売却可能なわけではありません。

職員の数を他の都市と比べてみると…

▶ 政令指定都市人口1,000人あたりの職員数 (令和3年度普通会計決算)



単に職員を減らすということだけではなく、仕事の方法を工夫して「市民サービス」の質を確保しながら、新しい課題にも対応できるように取り組んでいます。

財政の健康診断

財政状況をチェックする 4つの指標

地方自治体は、平成19年度決算から財政の健全性を判断するための4つの指標を公表することが法律で義務づけられました。川崎市でもこの指標でチェックした結果、どの指標においても財政状況は健全な状況を維持しています。



実質赤字比率

一般会計などの実質的な赤字を示すもの

連結実質赤字比率

全会計の赤字や黒字を合算し、全体の赤字の程度を示すもの

実質公債費比率

長期の借入金やこれに準じた経費の額の大きさを指標化し、実質的な元利償還費の水準を示すもの

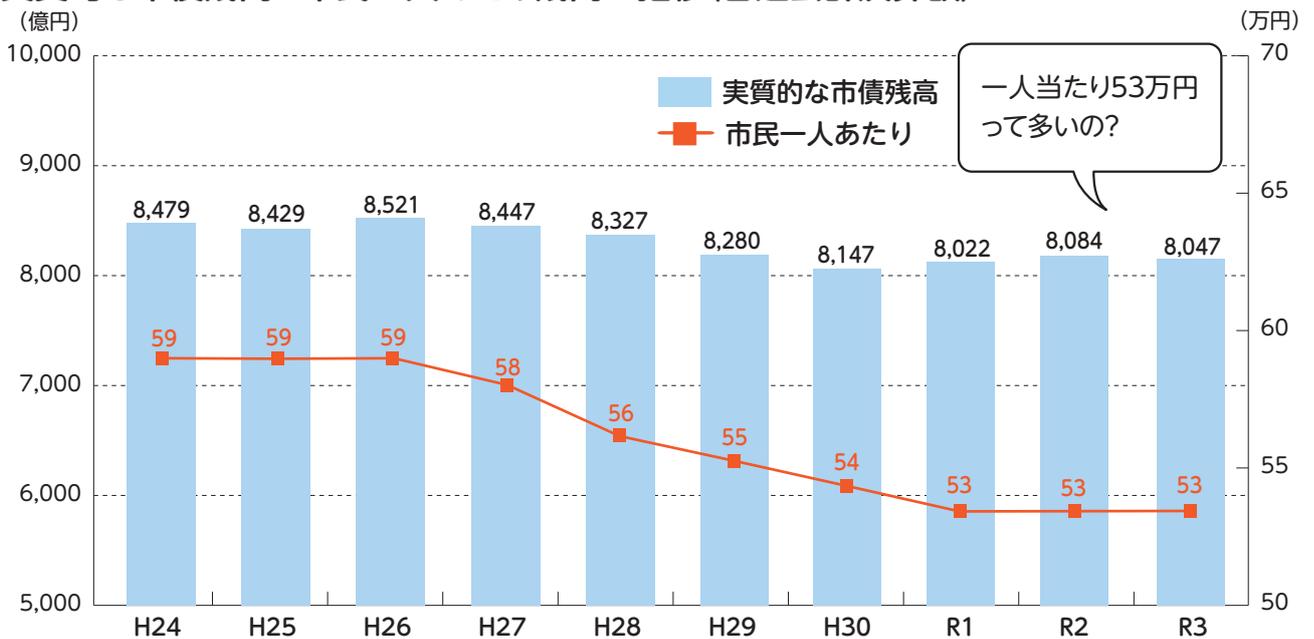
将来負担比率

一般会計等借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での額の程度を指標化し、将来的に財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの

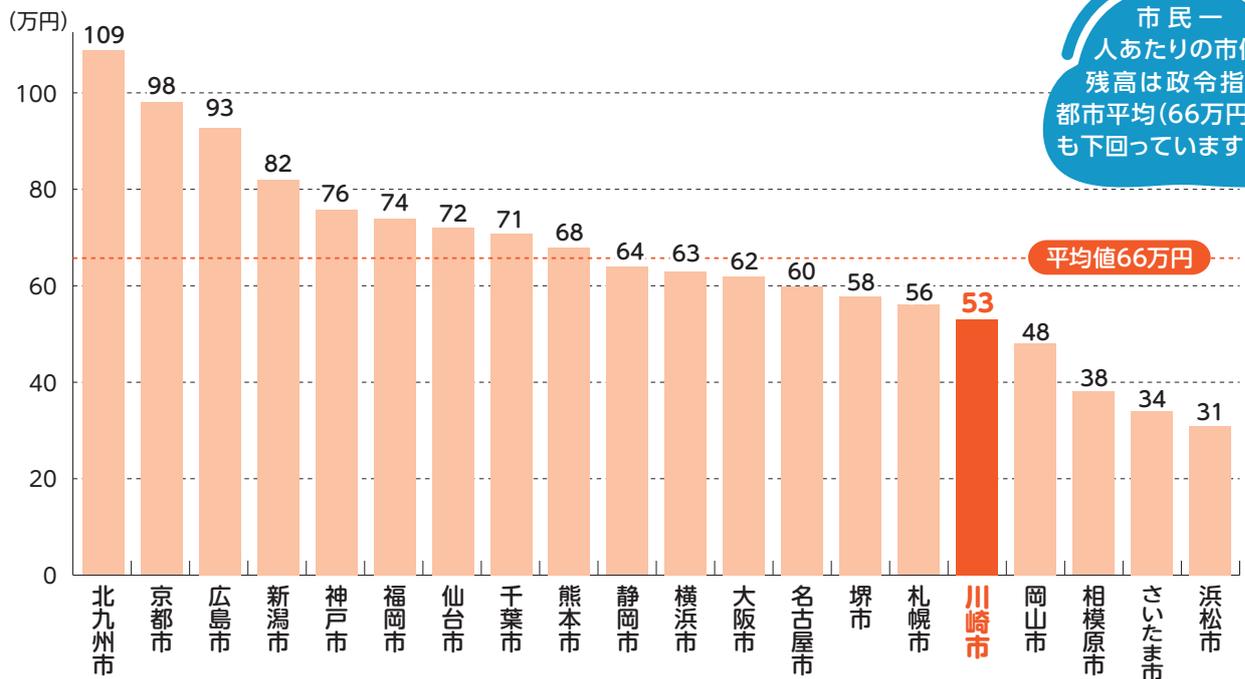
⑩市の将来像を確認しながら 借入金のバランスを考えています

どれくらい借入金(市債)の残高があるの？

▶ 実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移(普通会計決算額)



▶ 政令指定都市市民一人あたりの実質的な市債残高 (令和3年度 普通会計決算)

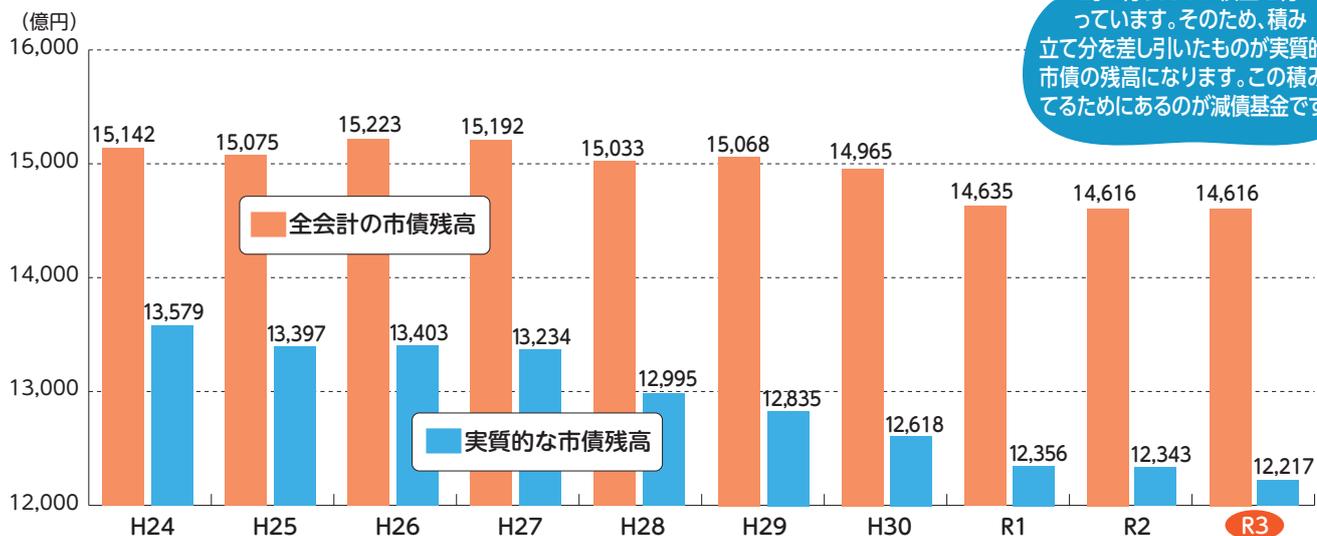


市民一人あたりの市債残高は政令指定都市平均(66万円)よりも下回っています。

平均値66万円

全会計の「実質的な」市債残高は？

▶ 全会計の市債残高の推移



市債の償還
(借金の返済)を計画的に行うために積立を行っています。そのため、積み立て分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。この積み立てるためにあるのが減債基金です。

実質的な市債残高は減少傾向にありますが、次世代の市民に大きな負担にならないよう、将来への負担を明らかにして事業を行い、計画的に借入れをしていくことが大切です。

関連記事 [P.22](#)

主に水道料金や
下水道使用料などにより償還(返済)する市債

4,250億円

令和3年度
全会計市債残高
(決算)

1兆4,616億円

主に市税などにより償還(返済)する市債

1兆366億円

市はなぜ市債の発行(借金)をするのでしょうか

学校などの公共施設を建てるために、多額のお金が必要です。その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建設費を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平がうまれますし、ほかの行政サービスに予算が回らなくなるなどの影響が出てしまいます。そのため、市債を発行して借入をし、将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているのです。

それぞれに納税者となる時期が異なるので…

最初の年～
10年後の
税で負担



11年後～
20年後の
税で負担



21年後～
30年後の
税で負担



令和5年度グリーンボンドを発行します

グリーンボンドは、環境改善効果のある事業の財源となる市債です。川崎市は、令和3年度に政令指定都市初となるグリーンボンドを発行しました。令和5年度につきましても、令和4年度に引き続き3回目となるグリーンボンドを発行します。今後も投資家の皆様から応援をいただきながら、ESG投資を活性化させるとともに、環境問題が差し迫った課題であることを市民・事業者の皆様と共有し、地球温暖化対策を加速化させる効果的な取組を実践していきます。

令和5年度川崎市グリーンボンドの主な充当事業

橘処理センター整備事業	汚染防止及び管理・エネルギー効率
本庁舎等建替事業	グリーンビルディング(環境性能の高い建物)



←詳しい情報はこちらをご覧ください

川崎市 グリーンボンド

<https://www.city.kawasaki.jp/230/page/0000130339.html>

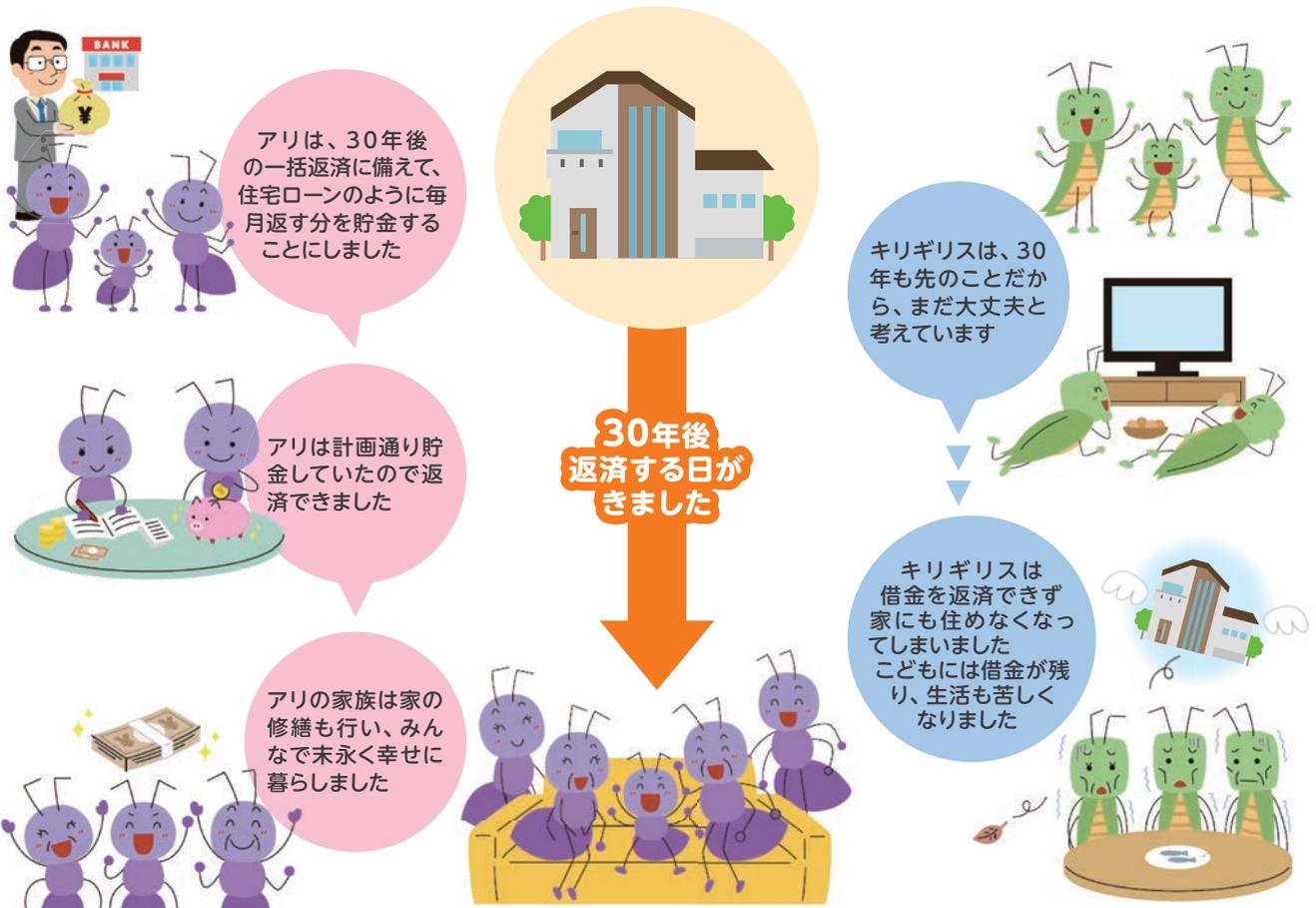
減債基金ってどうして必要なの？

市が借金をする理由は分かったけど、返すためのお金を減債基金に積み立てるのはどうしてなの？ 貯めないでどんどん返せばいいのに…。

個人の住宅ローンの場合は、借りたお金の一定額を毎月返済しますが、市の借金は最終返済日に全額を返す満期一括償還という方法で借りることがあります。その場合は、毎年度一定額を減債基金に貯めて、最終返済日に備えることが必要です。計画的にお金を貯めることがどれだけ大事か、下の例で考えてみましょう。

返済計画って大事！

アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家を建てました
銀行へは、毎月一定額を返す住宅ローンの方法ではなく、30年後に一括で返す約束です



30年も先のことからって、計画的にお金を積み立てないと大変なことになってしまうんだね。

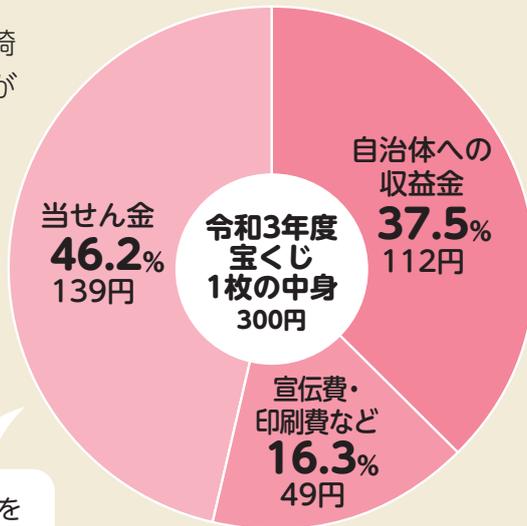
その通りです。返済のために計画的にお金を貯めないで、世代間の負担が不公平になったり、次の世代に負担を先送りすることになってしまいます。計画に基づき、減債基金にお金を積み上げていくことはとても重要です。

知っていますか？

これも市の事業なんです

宝くじの購入は川崎市内で

宝くじは、都道府県、川崎市を含む政令指定都市が共同で販売しており、各自治体の売上げに応じて収益金が配分されます。



例えば300円の宝くじを買ったとしたら、そのうちの約**139円**は当たった人に支払われます。

宝くじ収益金を使う主な事業

令和5年度

- 予防接種の実施
- がん検診の実施
- 消防車両・救急車両の購入
- 小児医療費の助成
- 妊婦の健康診査
- 地域子育て支援
- 資源物の分別収集
- 公園施設の整備
- 芸術文化の振興
- 道路維持補修
- 民間保健所整備



川崎市 宝くじ

検索

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-2-0-0-0-0-0-0.html>

競馬・競輪事業の収益は皆さんの身近な暮らしに役立っています

競馬・競輪事業の収益金の一部は、義務教育施設の整備等に使用されており、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

競馬事業
7億円

競輪事業
1億5千万円



子ども・若者応援基金積立金
3千万円

義務教育施設整備事業
8億2千万円

あなたも川崎市を

サポートできます！

市債を購入して未来の川崎市のまちづくりに参加しませんか？

川崎市では、市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備等のために必要となる資金の一部を借り入れるため、定期的に「川崎市債」を発行しています。

市債は川崎市内の特定の金融機関の窓口で誰でも買うことができます。



川崎市 投資家情報

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0.html>

● 令和5年度 市債発行計画 ●

5年債	発行総額300億円	4月・7月・10月／各100億円
10年債	発行総額100億円	12月／100億円

※この他に、他の県や市と共同で発行しているものや、機関投資家向けの市債があります。

「最幸のまち かわさき」に

ふるさと納税

川崎市への寄附金(ふるさと納税)は、市制100周年記念事業や災害被害復旧、教育や芸術・文化、動物愛護など、寄附していただいた方の使いみちのご意向に沿ってさまざまな分野に活用させていただき、市民サービスの充実につなげています。

本市を応援したいという思いを施策に反映させてまいりますので、応援をお願いいたします。



川崎市 ふるさと納税

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-10-0-0-0-0-0-0-0.html>

● 寄附金の主な使いみち ●

市制100周年記念事業	全国都市緑化かわさきフェア
東海道川崎宿400年	市民ミュージアムの被害復旧
安心・安全	健康・福祉
子ども・教育	芸術・文化・スポーツ
環境・公園・みどり	動物愛護
都市拠点の整備・地域経済・臨海部の活性化	市民自治のまちづくり

「ふるさと納税」によって流出している市税は、本来は、私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

ふるさと納税制度とは ふるさとへの貢献や応援したいという納税者の想いを実現するため、自治体へ寄附ができる制度であり、税の使い道をご自身で選択できる制度ですが、**市民の方が他の自治体に寄附すると、川崎市の税収が減少する側面があります。**

Q. ふるさと納税による川崎市の市税収入等の減収額は？

ふるさと納税による減収額の推移

\ 比べてみると… /



例①

約69万世帯分のごみの収集・
処理経費と同じくらい
(市の全世帯の約90%)



ふるさと納税によって流失している市税は、本来は私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

A. 令和5年度の減収額 **125億円!** (令和5年度当初予算時点の見込み)



現状を嘆くのではなく、取組を進めています!

- ① 国に対して、ふるさと納税に係る制度の見直しについて継続的に要請しています。
- ② 特設サイトや民間ポータルサイト(ふるさとチョイス等)を活用して川崎らしい・川崎ならではの魅力を全国に向けて発信しています。
- ③ 「動物愛護センターの動物等への支援」や、寄附先の学校を指定できる「学校ふるさと応援寄附金」など、使い道が明確な寄附メニューの充実を図っています。

◆ 動物愛護センターへの支援

令和3年度寄附受入額：約920万円

川崎市動物愛護センターに収容された犬や猫の飼育環境の充実のため、飼育管理用品や医薬品の購入などに活用しています。



◆ 学校ふるさと応援寄附金

令和3年度寄附受入額：約870万円※

希望の学校を指定して寄附することができ、学校の花苗、実験用器具、楽器、スポーツ玩具の購入等、各学校の学校生活に役立てられています。



※ 法人・団体からの寄附を含む合計

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください。



川崎市 財政

検索

[https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/
47-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html](https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html)

ご意見・ご感想をぜひお寄せください。



アンケートにご協力ください。

[https://logoform.QR.jp/form/
FUQz/297815](https://logoform.QR.jp/form/FUQz/297815)

令和5年度
川崎市 財政読本

川崎市財政局財政部庶務課

電話：044-200-2176 FAX：044-200-3904

Email：23syomu@city.kawasaki.jp